

銀河レポート401

NO. 19
12月

発行日：平成28年12月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリアム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

12月の星空

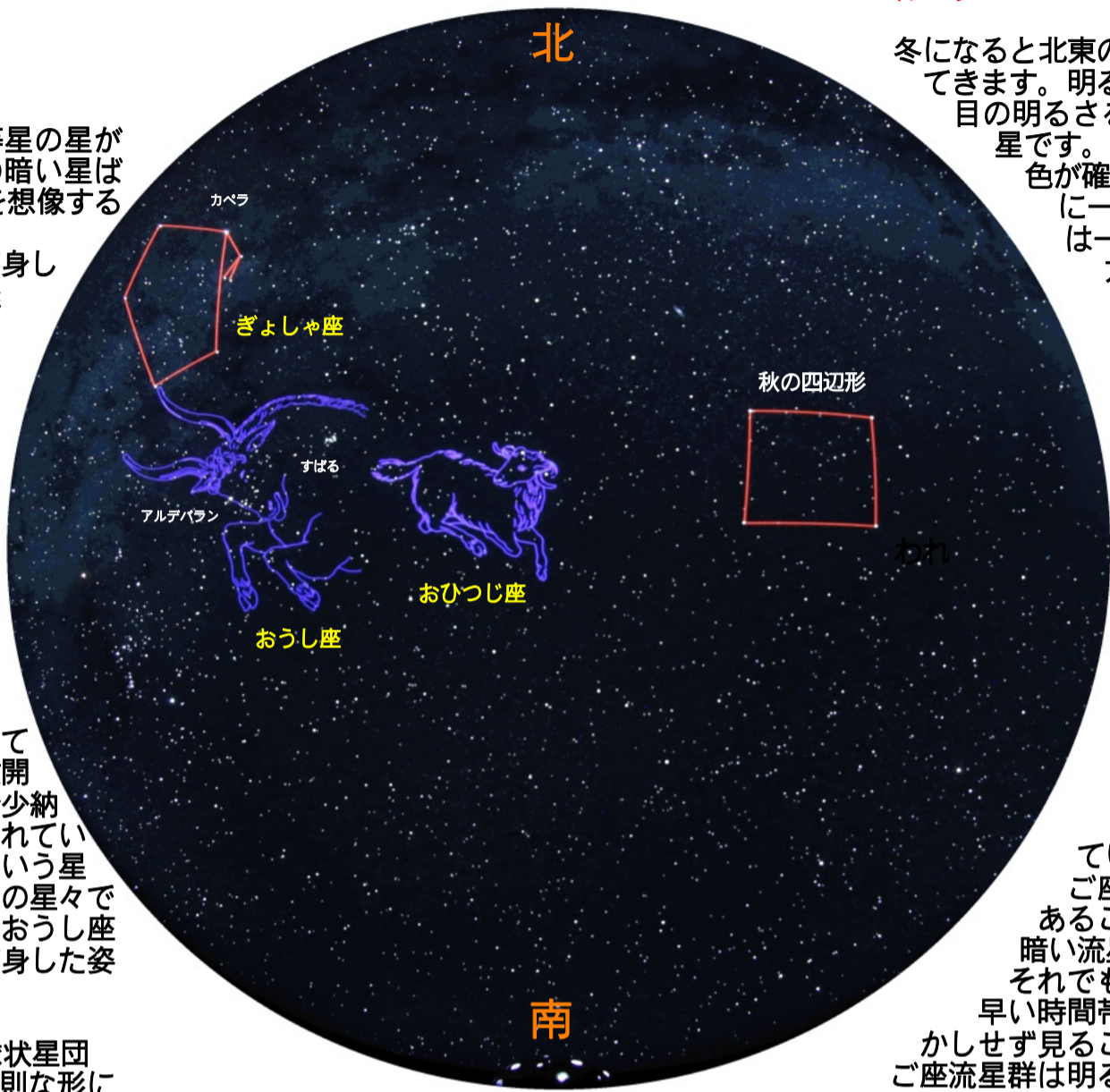
おひつじ座

おひつじ座は誕生日の星座で、2等星の星が一つありますが、他は3等星以下の暗い星ばかりですので、街中では星座の形を想像するのは難しいでしょう。ギリシャ神話では、大神ゼウスが変身した姿だといわれています。また、継母にいじめられていたフリクスとヘルメスをかわいそうに思ったヘルメスが、二人を逃がすために使いとして送った空を飛ぶ金毛の羊ともいわれています。羊に乗ってうまく逃げる事ができた二人でしたが、ギリシャからアジアへ渡ろうとしたとき、ヘルメスはうっかり下を見て、目がくらんでしまい、海に落ちて死んでしまうという不幸な話が残されています。

おうし座

冬の初め、東の空からすばるが上ってきます。すばるはたいへん美しい散開星団（さんかいせいだん）※で、清少納言の「枕草子」にもすばるが紹介されています。その後ろからアルデバランという星とヒアデス星団が続きます。これらの星々で形作られているのがおうし座です。おうし座はギリシャ神話では大神ゼウスが変身した姿といわれています。

※星団…星がほぼ球状に集まった球状星団（きゅうじょうせいだん）と不規則な形に集まった散開星団があります。



GINGA PORT401内で撮影

カペラ

冬になると北東の空から1等星カペラが上ってきます。明るさは0.08等級で全天で6番目の明るさを誇っており、大変目立つ星です。望遠鏡で見ると黄色っぽい色が確認できます。また、北極星に一番近い1等星で、北海道では一年中見ることが出来ます。カペラはぎよしゃ座の星です。カペラの他にも2等星が一つ、3等星が四つと明るい星が多いので、街中でもぎよしゃ座が確認できるでしょう。ギリシャ神話ではエニオクソスがこのぎよしゃ座のモデルになったといわれています。

ふたご座流星群

ふたご座流星群は毎年12月14日頃を中心に活発に活動する流星群です。1月のしぶんぎ座流星群、8月のペルセウス座流星群と共に「三大流星群」と呼ばれています。しかし、今年のふたご座流星群は、ピークが昼間であることや月明かりがあるため、暗い流星は見にくいと思われます。それでも、ふたご座流星群は比較的早い時間帯から見始めるので、夜更かしせず見ることが出来ます。また、ふたご座流星群は明るい流星が多いので、街中에서도見る事ができる可能性があります。しっかり寒さ対策をして流星をお楽しみください。

ガリレオ教室で楽しく学ぼう！今回のテーマは「金星のひみつ」

11月13日（日）、天文ボランティア主催のガリレオ教室が開かれました。今回のテーマは「金星のひみつ」です。金星について、〇×クイズや模型を使って楽しく学んでもらいました。また、午前の部では、屋上

で金星を見ることができました。参加されたお客さんからは「昼間に金星が見られるとは思わなかった。」「夕方、また金星を探してみる。」「夕方、西の空に「宵の明星」として金星がとても美しく輝いてい

ますので探してみてください。また、12月のガリレオ教室も「金星のひみつ」がテーマです。今回参加できなかった方は、ぜひご参加ください。



12月ガリレオ教室のお知らせ

〈金星のひみつ〉

金星は「明けの明星」「宵の明星」と呼ばれ、昔から親しまれています。今が見頃の金星について、天文ボランティアが分かりやすく解説します。

日時：12月11日（日）
①11：00から11：20
②14：00から14：20

場所：5階コスミックラウンジ
※ 当日の自由参加・参加無料



★★観望会★★



《博物館主催きらら号観望会》
日時：12月24日（土）
時間：17時から18時30分
場所：市民公園
内容：金星とすばるを見よう
※天候不順時は中止です。
※当日の自由参加です。

《天文ボランティア主催観望会》
日時：12月23日（金・祝）
時間：17時から20時30分
場所：諏訪公園
内容：金星とすばるを見よう
※きらら号は出勤しません。
※天候不順時は中止です。
※当日の自由参加です。

12月の月

7日		上弦
14日		満月
21日		下弦
29日		新月

編集後記

2016年も残すところあとひと月となりました。近鉄四日市駅前の中央通りは、クリスマスのイルミネーションできれいに飾られています。冬の澄んだ空に星が美しく輝いています。これから夜はどんどん冷え込んでいきますが、防寒対策を万全にして冬の星座を満喫してください。